

アンケート報告書添付資料

2021年4月25日

作成： 大津SDGs推進委員会

SDGSをさらに深めるためのアンケート 調査集計結果

★ 回収数

80人

★実施期間

2020年11月～2021年3月

(期間延長のため)

1 回答者の所属

所属	人数	割合
NPO	19	24%
行政	6	8%
企業	6	8%
環境活動団体	20	25%
一般市民	19	24%
大学生	10	13%
総数	80	

2 回答者の年齢

年代	人数	割合
10代	6	8%
20代	6	8%
30代	1	1%
40代	14	18%
50代	12	15%
60代	16	20%
70代	24	30%
無回答	1	1%
総数	80	

3 SDGSを知っているか

	人数	割合
詳しく知っています	25	31%
少し知る	48	60%
名前を知ったことがある	5	6%
全く知らない	1	1%
無回答	1	1%
総数	80	

4 何時知りましたか

	人数	割合
2015年採択時	21	26%
3～4年前	36	45%
2019年	15	19%
本年(2020年)	1	1%
最近	4	5%
無回答	3	4%
総数	80	

5 知ったきっかけ

	人数	割合
メディア	25	31%
講座セミナー	31	39%
本	1	1%
会話から	2	3%
その他	17	21%
無回答	4	5%
総数	80	

6 興味があるか

	人数
大変ある	20
ある	33
少しある	20
ない	3
わからない	3
無回答	1
総数	80

7 目標別の取組記入数

目標	記入数
1	3
2	1
3	7
4	6
5	6
6	1
7	6
8	3
9	3
10	3
11	1
12	1
13	1
14	4
15	4
16	5
17	8
無回答	17
総数	80

8 目標別評価点・平均評価点

目標	評価点記入数	評価点合計	平均評価点
1	41	89	2.2
2	36	80	2.2
3	36	90	2.5
4	36	98	2.7
5	25	64	2.6
6	31	72	2.3
7	36	92	2.6
8	25	64	2.6
9	13	33	2.5
10	28	64	2.3
11	39	105	2.7
12	41	110	2.7
13	44	107	2.4
14	35	67	1.9
15	39	94	2.4
16	23	44	1.9
17	36	86	2.4
計	564	1359	2.4

◎ 全体の平均評価は、 2.4

9 関心のある目標 1位～3位

#	目標	第1位	第2位	第3位	記入合計
1		9	5	2	16
2		0	2	2	4
3		6	3	9	18
4		5	6	1	12
5		4	1	2	7
6		2	2	4	8
7		5	9	5	19
8		4	1	5	10
9		0	2	3	5
10		1	7	2	10
11		6	7	5	18
12		5	4	4	13
13		13	7	3	23
14		1	6	6	13
15		3	2	8	13
16		4	2	1	7
17		3	4	9	16
計		71	70	71	212

★設問 「回答者が記入した具体的事例の取り組みや活動の主体は？」 「その活動に関わっているのか、知っているのか」

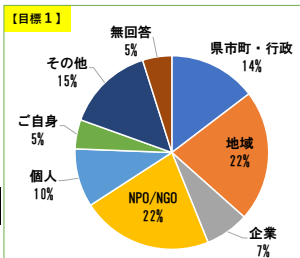
目標1 貧困をなくそう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	6	15%
地域	9	22%
企業	3	7%
NPO/NGO	9	22%
個人	4	10%
ご自身	2	5%
その他	6	15%
無回答	2	5%

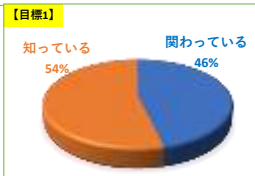
取組との関係	平均評価	%
関わっている	19	2.7 46%
知っている	22	1.7 54%

記入総数	41
評価点総数	89
平均評価点	2.2

取組活動の主体団体



取組との関係



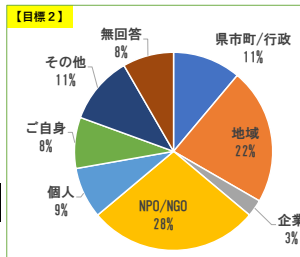
目標2 飢餓をゼロに

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	4	11%
地域	8	22%
企業	1	3%
NPO/NGO	10	28%
個人	3	8%
ご自身	3	8%
その他	4	11%
無回答	3	8%

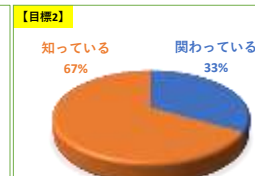
取組との関係	平均評価	%
関わっている	12	2.3 33%
知っている	24	2.2 67%

記入総数	36
評価点総数	80
平均評価点	2.2

取組活動の主体団体



取組との関係



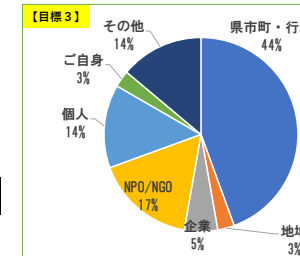
目標3 すべての人に健康と福祉を

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	16	44%
地域	1	3%
企業	2	6%
NPO/NGO	6	17%
個人	5	14%
ご自身	1	3%
その他	5	14%
無回答	0	0%

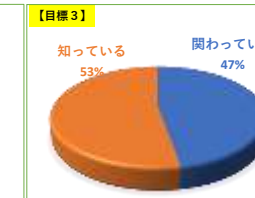
取組との関係	平均評価	%
関わっている	17	2.8 47%
知っている	19	2.3 53%

記入総数	36
評価点総数	90
平均評価点	2.5

取組活動の主体団体



取組との関係



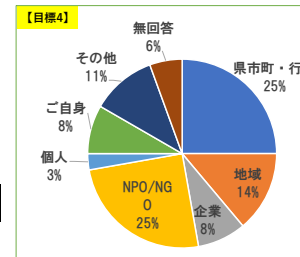
目標4 質の高い教育をみんなに

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	9	25%
地域	5	14%
企業	3	8%
NPO/NGO	9	25%
個人	1	3%
ご自身	3	8%
その他	4	11%
無回答	2	6%

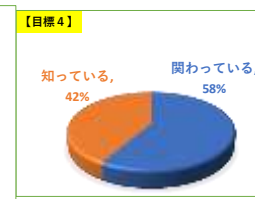
取組との関係	平均評価	%
関わっている	21	2.8 58%
知っている	15	2.6 42%

記入総数	36
評価点総数	98
平均評価点	2.7

取組活動の主体団体



取組との関係



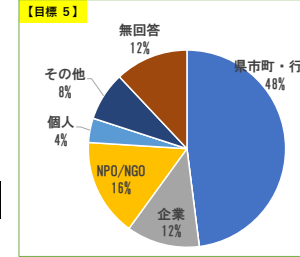
目標5 ジェンダー平等を実現しよう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	12	48%
地域	0	0%
企業	3	12%
NPO/NGO	4	16%
個人	1	4%
ご自身	0	0%
その他	2	8%
無回答	3	12%

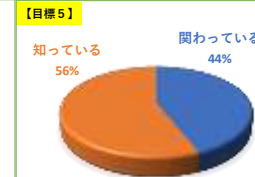
取組との関係	平均評価	%
関わっている	11	3 44%
知っている	14	2.2 56%

記入総数	25
評価点総数	64
平均評価点	2.6

取組活動の主体団体



取組との関係



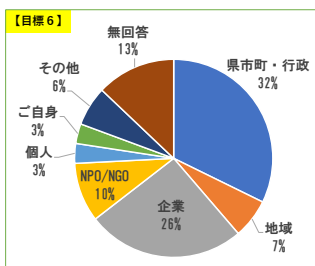
目標6 安全な水をトイレを世界中に

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	10	32%
地域	2	6%
企業	8	26%
NPO/NGO	3	10%
個人	1	3%
ご自身	1	3%
その他	2	6%
無回答	4	13%

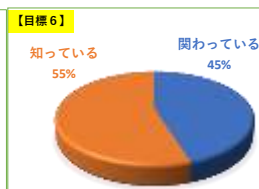
取組との関係	平均評価	%
関わっている	14	2.3 45%
知っている	17	2.4 55%

記入総数	31
評価点総数	72
平均評価点	2.3

取組活動の主体団体



取組との関係



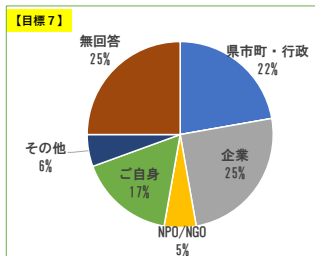
目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	8	22%
地域	0	0%
企業	9	25%
NPO/NGO	2	6%
個人	0	0%
ご自身	6	17%
その他	2	6%
無回答	9	25%

取組との関係	平均評価	%
関わっている	19	2.7 63%
知っている	11	2.4 37%

記入総数	36
評価点総数	92
平均評価点	2.6

取組活動の主体団体



取組との関係



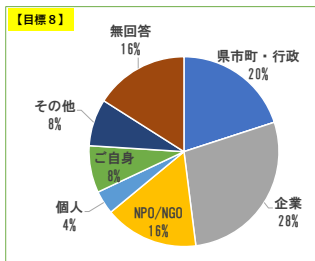
目標8 働きがいも経済成長も

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	5	20%
地域	0	0%
企業	7	28%
NPO/NGO	4	16%
個人	1	4%
ご自身	2	8%
その他	2	8%
無回答	4	16%

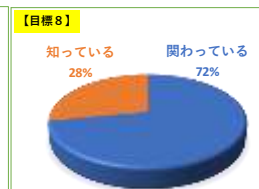
取組との関係	平均評価	%
関わっている	18	2.7 72%
知っている	7	2.3 28%

記入総数	25
評価点総数	64
平均評価点	2.6

取組活動の主体団体



取組との関係



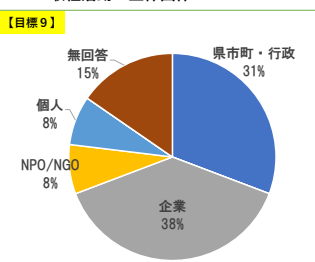
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	4	31%
地域	0	0%
企業	5	38%
NPO/NGO	1	8%
個人	1	8%
ご自身	0	0%
その他	0	0%
無回答	2	15%

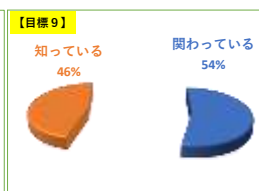
取組との関係	平均評価	%
関わっている	7	2.6 54%
知っている	6	2.3 46%

記入総数	13
評価点総数	33
平均評価点	2.5

取組活動の主体団体



取組との関係



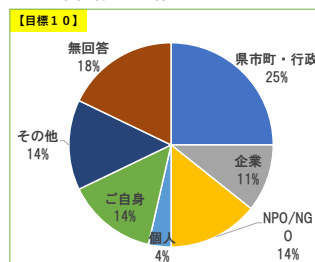
目標10 人や国の不平等をなくそう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	7	25%
地域	0	0%
企業	3	11%
NPO/NGO	4	14%
個人	1	4%
ご自身	4	14%
その他	4	14%
無回答	5	18%

取組との関係	平均評価	%
関わっている	15	2.6 54%
知っている	13	1.9 46%

記入総数	28
評価点総数	64
平均評価点	2.3

取組活動の主体



取組との関係



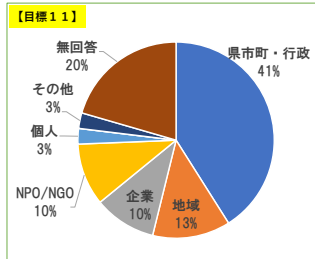
目標11 住みつけられるまちづくりを

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	16	41%
地域	5	13%
企業	4	10%
NPO/NGO	4	10%
個人	1	3%
ご自身	0	0%
その他	1	3%
無回答	8	21%

取組との関係	平均評価	%
関わっている	2.7	69%
知っている	1.2	31%

記入総数	39
評価点総数	105
平均評価点	2.7

取組活動の主体団体



取組との関係



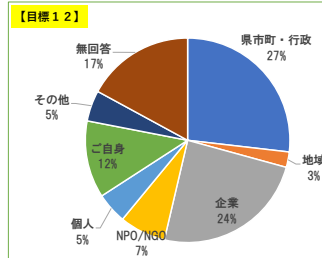
目標12 つくる責任つかう責任

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	11	27%
地域	1	2%
企業	10	24%
NPO/NGO	3	7%
個人	2	5%
ご自身	5	12%
その他	2	5%
無回答	7	17%

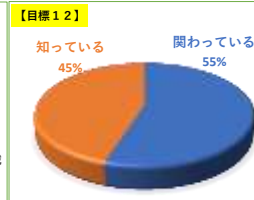
取組との関係	平均評価	%
関わっている	2.2	55%
知っている	1.8	45%
無回答	1	

記入総数	41
評価点総数	110
平均評価点	2.7

取組活動の主体団体



取組との関係



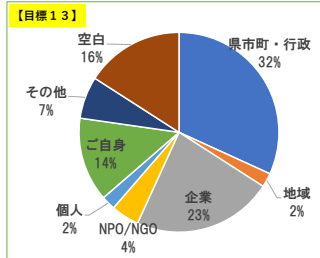
目標13 気候変動に具体的な対策を

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	14	32%
地域	1	2%
企業	10	23%
NPO/NGO	2	5%
個人	1	2%
ご自身	6	14%
その他	3	7%
空白	7	16%

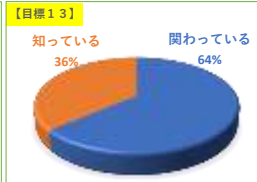
取組との関係	平均評価	%
関わっている	2.8	64%
知っている	1.6	36%

記入総数	44
評価点総数	107
平均評価点	2.4

取組活動の主体団体



取組との関係



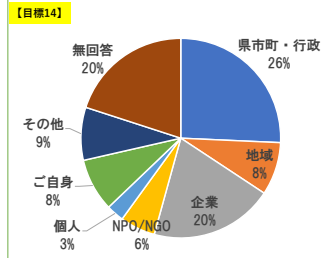
目標14 海の豊かさを守ろう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	5	26%
地域	3	9%
企業	7	20%
NPO/NGO	2	6%
個人	1	3%
ご自身	3	9%
その他	3	9%
無回答	7	20%

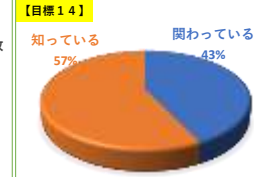
取組との関係	平均評価	%
関わっている	1.5	43%
知っている	2.0	57%
空白	1	

記入総数	39
評価点総数	67
平均評価点	1.9

取組活動の主体団体



取組との関係



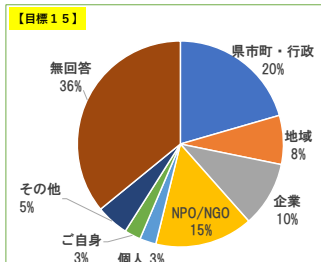
目標15 陸の豊かさも守ろう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	8	21%
地域	3	8%
企業	4	10%
NPO/NGO	6	15%
個人	1	3%
ご自身	1	3%
その他	2	5%
無回答	14	36%

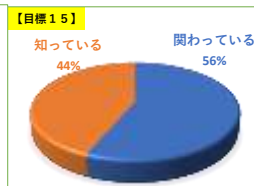
取組との関係	平均評価	%
関わっている	2.2	56%
知っている	1.7	44%

記入総数	39
評価点総数	94
平均評価点	2.4

取組活動の主体団体



取組との関係



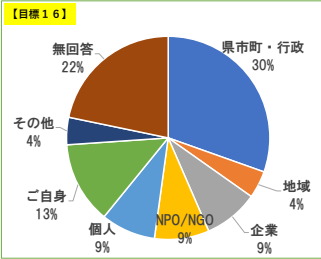
目標16 平和と公正をすべての人に

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	7	30%
地域	1	4%
企業	2	9%
NPO/NGO	2	9%
個人	2	9%
ご自身	3	13%
その他	1	4%
無回答	5	22%

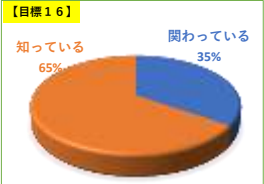
取組との関係		平均評価	%
関わっている	8	1.5	35%
知っている	15	2.1	65%

記入総数	23
評価点総数	44
平均評価点	1.9

取組活動の主体団体



取組との関係



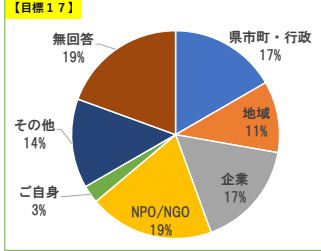
目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

取組主体	記入人数	%
県市町・行政	6	17%
地域	4	11%
企業	6	17%
NPO/NGO	7	19%
個人	0	0%
ご自身	1	3%
その他	5	14%
無回答	7	19%

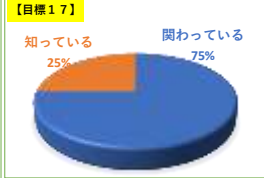
取組との関係		平均評価	%
関わっている	27	2.3	75%
知っている	9	2.8	25%

記入総数	36
評価点総数	86
平均評価点	2.4

取組活動の主体団体



取組との関係



まとめ 取り組み活動の主体団体

目標	県市町・行政	地域	企業	NPO・NGO	個人	ご自身	その他	無回答	単位：%
1	15	22	7	22	10	5	15	5	
2	11	22	3	28	8	8	11	8	
3	44	3	6	17	14	3	14	0	
4	25	14	8	25	3	8	11	6	
5	48	0	12	16	4	0	8	12	
6	32	6	26	10	3	3	6	13	
7	22	0	25	6	0	17	6	25	
8	20	0	28	16	4	8	8	16	
9	31	0	38	8	8	0	0	15	
10	25	0	11	14	4	14	14	18	
11	41	13	10	10	3	0	3	21	
12	27	2	24	7	5	12	5	17	
13	32	2	23	5	2	14	7	16	
14	26	9	20	6	3	9	9	20	
15	21	8	10	15	3	3	5	36	
16	30	4	9	9	9	13	4	22	
17	17	11	17	19	0	3	14	19	

取り組みとの関係

目標	関わっている	知っている	単位：%
1	46	54	
2	33	67	
3	47	53	
4	58	42	
5	44	56	
6	45	55	
7	63	37	
8	72	28	
9	54	46	
10	54	46	
11	69	31	
12	55	45	
13	64	36	
14	43	57	
15	56	44	
16	35	65	
17	75	25	

目標 1	貧困をなくそう	記入 41	89点
------	---------	-------	-----

★「関わっている」と回答した取り組み	記入 19	52点
--------------------	-------	-----

」	生活困窮世帯の子どもに対する学習会など 貧困の連鎖を断ち切るために、無償の学習会を行い学習の機会を提供している。孤立を防ぎ支えてくれる人がいる居場所を提供している。 私は関わっていないが、海外でも学習で貧困の連鎖を断ち切る活動も多い。
	1 日約2ドル以下で生活している人を貧困と定義している が、この基準による貧困人口は減少してきた。しかしなお 世界で 1.3 億人が貧困層にあるといわれ、しかもその多くが子どもであることが悲しい。貧困は、それを生ずる原因（気候・生活習慣・宗教・農作物
	フードバンクびわ湖たかしまの活動 高島市内のひとり親世帯や食品を必要としている世帯へ、寄付食品の配布をしている。行政、社協、中間支援組織、企業とも連携しながら活動している。
	子ども食堂の開催等が地域でも行われており、協力している
	生活費貸や子ども食堂など社会福祉協議会の役員として取り組んでいる
	毎年3～4回無料ぶつぶつ交換会を開催している
	国連UNHR協会への寄付 ユニセフへの寄付 他
	2019年インドのグループ会社が、屋外排泄を減らすために地域の小学校にトイレ設備を提供。
	安全に食べられるのに販売できないお菓子をフードバンクに寄贈
	「赤い羽根募金」などに寄付している。
	SDG s 私募債 企業が発行する私募債を滋賀銀行が引き受け、発行額の0.2%相当額・物品を発行企業体の希望する学校・福祉団体に寄付をすることで、社会的価値と経済的価値の両立を行っている。 子どもの貧困対策に取り組むNPO等への助成事業を通じ、県内の食糧事情の改善に関わっています。
	年間を通じたユニセフ募金の実施 ※一般募金・緊急募金の取り組みはSDG s の他の目標にも対応しています ・ハンガーフリーワールド「書き損じはがき回収キャンペーン」 ・ユニセフ「お菓子の宝庫」
	毎年3～4回無料ぶつぶつ交換会を開催している
	平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、自立相談事業を実施しています。「日常生活自立」「社会生活自立」「経済的自立」のための支援をしています。 また、地域では「子どもの学習支援事業」（子ども居事業）「福祉施設と連携」「お仕事体験会」（就業準備進路のため
	市社協の生活困窮者支援活動 行政や民間団体、一般市民と連携して行っている
	貧困家庭向けのフードドライブの広報協力と食品を預ける

★「知っている」と回答した取り組み	記入 22	37点
-------------------	-------	-----

フードバンクで余剰食材を貧困家庭などに配布している
フードバンクで余剰食材を貧困家庭などに配布している
いろいろな方が関わっておられてお話を良く聞かせていただきますが、総合的にどう組み立てていくかの基本計画は聞いたことがありません。
生活保護事業

生活に必要な収入が仕事で得られない貧困家庭がある。子どもの7人に一人が貧困状態にあるという。さらに格差は広がりがつつあるのが現実だ。貧困が表面に出ないということもあり、対策は十分といえない。
生協
子ども食堂の取り組み
食品ロスについて
子ども食堂、学童保育
子ども食堂やボランティアの家庭教師 友人がやっている 不要の食料の収集（スポーツジム）
国の社会福祉保障制度の実施。 ・市、社会福祉協議会の活動。
子ども食堂、フードバンク、社会福祉協議会、コープしがを通して。
就職支援（ハローワークなど） 生活保護などの社会福祉の仕組み
テレビやネットでたまに活動を耳にする程度です
①民生委員による貧困家庭の相談、生活保護制度による貧困家庭の支援など ②ユニセフによる募金活動；個人としてVIZAカード二より年1回くらい支援 ③NPOなどによる支援活動
子ども食堂では、夕食をひとりで食べている（食べれていない）子どもを主な対象として、人が集まって食事をとる場を提供している
生活補助制度（セーフティネット）の運用、社会福祉協議会の生活費融資
）unicef（国連児童基金）すべての子供の命と権利を守る 公平のための現金支援 日本赤十字社 募金活動
富士見学区 社会福祉協議会において、平成29年4月から子ども食堂に関する取組（当初は「子どもサロン」）を実施し、子どもの居場所づくりを行っている
子どもの居場所づくり、学習支援など
NPO法人全国こども食堂支援センター むすびえは、誰も取りこぼさない社会を目指して、こども食堂の支援や調査・研究を行っている。（SDGs2番や11番にも関わっている
「子ども食堂」の経営（貧困家庭の子どもに食事の提供）、たきだし 「賞味期限切れ食品スーパー」の開設

目標2	飢餓をゼロに	総数	36	80点
-----	--------	----	----	-----

80点

★「関わっている」と回答した取り組み	記入 12	27点
--------------------	-------	-----

27点

基本的には開発途上国の課題と思っていましたが、コロナのために日本でも満足に食事が満足でない方がおられる状況が発生しているとのこと、どうしたら良いか答えが見つけれ出ていません。 今のところできていることは募金協力だけです
炊き出し、子ども食堂、無料食堂など 今晚の食べるものがない方たちに無償や低価格で手作りの食べ物や保存のきく食べ物を提供する。特にコロナでバイトが出来なくなった学生さんなどには、食べた後食器を洗ったり手伝わると一食が無料になるなど、企業も参加しやすい取り組みも見られる
子ども食堂への参加
寄付金活動への参加。
在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究の推進。 ヨシ群落など産卵、生育の場の再生
安全に食べられるのに販売できないお菓子をフードバンクに寄贈
CO・OP レッドカップキャンペーン（対象コープ商品1品につき1円を国連WFPに寄付する取り組み）・フードドライブの取り組み（生協施設12カ所にフードBOXを設置、県内フードバンクに寄付）・フードバンクの取り組み支援
10年前のリーマンショック時から地域に向け生活支援物資を募集し、困窮している方にお渡しし支援しています。コロナ禍におけるフードロス対策と生活困窮者の生活支援をマッチングし支援しています。また、地域では独自にひとり親家庭にスーパーの買い物券を配布したり、生活困窮者に支援物資や、支援物資を調理しお弁当を配食するなど食の支援をしています。
市社協の生活困窮者支援活動 行政や民間団体、一般市民と連携して行っている
貧困家庭向けのフードドライブの広報協力と食品を預ける。 大学生の一人暮らしもアルバイトなどが出来なくて困っていると聞いているので、情報を共有している
ユニセフに募金している（生協を通じて年に数回）生協（コープしが）も取り組んでいる
子ども食堂のボランティア

★「知っている」と回答した取り組み 記入 24 53点

53点

子ども食堂で無償の食事提供をおこなっている
市社協 生活支援物資の受入
国連 WPF がノーベル平和賞を受賞した。このことを裏返すと世界の多くの人が食糧不足に悩んでいるということである。世界の約 8 億人が飢餓状態にあるという。その 3 分の 2 がアジア地域だ。他面、食糧廃棄物の多いことが環境を汚染していると指摘されている。 また既に、SDGs が目指す「飢餓ゼロ」は達成困難の可能性あり、といわれている。将来の世界人口の増加、耕作可能地の減少など心配材料が多い。農作物の栽培技術の向上や水の確保（海水の淡水化や灌漑施設整備等）などの食糧増産技術の開発が期待される。蛋白源として昆虫食の増加も予測される。
家庭の貧困や母親の仕事の影響で日に三食の食事が摂れず空腹を我慢している子どもたちがいる。そうした子どもたちに食事の世話をするボランティア的な活動や食材を提供する企業がある。今はコロナで十分な活動ができないが。
生協
子ども食堂やフードバンクという取り組みで、食糧支援をしている。

子ども食堂
食品ロスについて
フードバンクしがでは、コロナ禍で急に不要となった学校給食の食材を、コロナ禍で職を失ったり収入が減った人を中心に食材を配る活動を行っている。
子ども食堂、フードドライブ
子ども食堂の開催や食材等の配布
おいしが、うれしがプロジェクト
フードバンクびわこにたまに食品を提供している 物々交換会で食品を集めて、フードバンクびわこに提供している
地域の子ども食堂、フードバンク、社会福祉協議会、コープしがを通して。
子ども食堂、WFPの学校給食プログラム
テレビやネットでたまに活動を耳にする程度です
①生活保護制度により、飢餓を防ぐ取り組み ②子ども食堂など
フードバンクしがでは、コロナ禍で急に不要となった学校給食の食材を、コロナ禍で職を失ったり収入が減った人を中心に食材を配る活動を行っている。
子ども食堂、フードドライブ
フードバンク 規格外の食品や農産物、家庭で余った食料品をあつめ、一人親世帯や福祉施設、こども食堂に寄付をすることで、食品ロスと飢餓を無くす活動
Unicef子供の生存と成長 WHO（世界保健機関） 子ども食堂への取り組み
富士見学区 社会福祉協議会において、平成29年4月から子ども食堂に関する取組（当初は「子どもサロン」）を実施し、子どもの居場所づくりを行っている
フードバンクびわこにたまに食品を提供している 物々交換会で食品を集めて、フードバンクびわこに提供している
フードバンクびわ湖は、品質には問題がないにも関わらず流通できなくなった食品を個人や企業から寄付してもらい、生活困窮者などに無償で提供するフードバンク活動を行っている。（SDGs1番や12番にも関わっている）

目標3 全ての人に健康と福祉を	記入 36	90点
-----------------	-------	-----

★「関わっている」と回答した取り組み	記入 17	47点
--------------------	-------	-----

禁煙・禁酒・誕生などの広報活動。滋賀県は男性の長寿日本一である。その理由の一つに子ども達への禁煙の広報活動があり、子どもが煙草を吸わないだけでなく家族の大して働きかけ、健康増進に努めている。また、海外では子どもの衛生状態を守るために出産や新生児に対する広報活動もある。
アフリカ諸国で活動しているNGOに対しワクチン接種のための募金を行っている。
6年前からNPO法人ライティング心と未来のびわ湖バドミントンスクールでバドミントンの特色を生かした、前後・左右・上下（ジャンプ）の健康づくりを羽子板感覚で老若男女全ての方々対象にラケットとシャトルを自由に使っている環境を提供しています。最近では自分のブレない軸を作るタッチフォーヘルス（14筋・42筋体操）を取り入れて行っています。
高齢者の健康のため、南京玉すだれ・江州首頭・バルーンアート等各種教室を開催
日本イラク医療支援ネットワークへの寄付
事業活動における労働災害・重大際額の根絶・ダイバーシティの推進・働きやすい職場環境の整備・人材開発の推進
・市の健康福祉課の住民対応。 ・社会保険料、国民健康保険の負担。
コープしがで福祉活動、地域活動をしている。県の消費生活審議会で生活を通して健康と福祉が守られるための施策を審議している。
当法人は利用者の住み慣れた地域で、住民同士の交流・介護予防・機能訓練等のサービス提供を行っている
河川・湖沼の水質、大気における環境基準等（有害化学物質）の監視 排出事業所あれば指導
大津市健康推進員として、地域の方の健康づくりを支援しています。
民生委員として、地域全体の安心安全を見まわる一方で、地域に暮らす高齢者やひとり親家庭などの暮らしの相談に乗ったり、困りごとを専門機関につなぐ橋渡しを行っている。
ユニセフ外貨コイン「募金」 旅行などで手元に残った外国コインを回収し、世界の子どもたちのために役立てるボランティア活動を実施。日本ユニセフ協会へ寄付。その後、世界150以上の国と地域で子どもたちのための支援活動に活用されている。
健康と福祉の増進に取り組むNPO等の助成事業を通じ、関わっています。
ばくばくキッチンカー健康教室の開催、（食生活を通じた健康づくり推進のため、出前教室を実施）・子育てサポートによる・子育て世帯の支援東近江市、甲良町「乳児おむつ等支給事業」の業務委託・地域での居場所や体操教室の実施支援・「レディスレインボーカップテニス」のコープこうべとの共催
市社協の生活困窮者支援活動 行政や民間団体、一般市民と連携して行っている
国境なき医師団に募金している（個人的に郵便振込みをしている）

★「知っている」と回答した取り組み	記入 19	43点
-------------------	-------	-----

市の定期健診、障害福祉課の活動
市の定期健診、障害福祉課の活動
日本は満足できないレベルかも知れないが、国民皆保険のお陰で一応の充足状態です。しかし、低開発国には健康も害してもドクターに診てもらえないというのは悲惨です。

とても困難な課題である。先進国と途上国では差が大きいし、先進国でも今回の新型コロナウイルス感染症で明らかになったように人種や所得格差や政府の政策により医療の恩恵を受けられるのに差異が生じている ワクチンが必要とする人々に円滑に配布されるだろうか。SDGs の理念が生かされるか、成り行きが注目される。福祉についても国による格差が大きい。将来、格差が縮小できるかは、項目1の「貧困をなくそう」と密接な関係がある。まず貧困を撲滅しないと福祉の充実は期待できない。いずれもの国が歩調を合わせるには「健康長寿」という ような世界のみんなが共有できる 価値観 を広めることが大事である 。 この点では高齢化が世界の各国に比して先行している日本の対応が注目されよう。
日本の保健制度は高く評価してよい。また高齢化社会で健康長寿を実現しているのは素晴らしい。評価は4としたかったが、コロナで医療体制（設備機器・人材）と危機管理体制（組織・情報共有）の脆弱性が露呈した。早急な改善が必要である。
NPO法人元気な仲間の「たすけあい高島」事業では、有償ボランティアで必要とする人の生活支援などで暮らしや健康を支えている。
国境なき医師団
マル福や医療費免除
赤十字社
健康アプリ
予防接種
生活保護制度を通して医療の支援
MSF（国境なき医師団）医療・人道援助 Unicef子供の保護 水と衛生 おおつ健康フェスティバル
保健所衛生課では、市内の保育園において、大津市食品衛生、協会青年部等とともに、手洗い教室を実施している。
市は生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を対象に『大津っ子みんな育て“愛”全戸訪問』を実施しています。費用は無料で、赤ちゃんや子育てについての相談に応じたり、子育てサービスや育児に関する情報を知らせている。がん検診の案内・クーポンの送付やワクチン接種の案内などがあります
健康フェスタなど誰でも参加できる取り組み
国連のこの目標のような取り組みは直接的に目にすることはないが、貧困と同じく目に触れにくいと思う。
BKC スポーツ健康 commons では、コロナ禍の運動不足解消や健康維持のためにオンラインでレッスンを開講している。
コロナワクチンの接種 健康しがの取り組み 患者の病床数の確保 衛生科学センターの新築（計画中）

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 21 59点

不登校児童生徒対象にしたオルタナティブスクール開設
不登校児童生徒対象にしたオルタナティブスクール開設
小さな子供の時から本に親しむ大切さや、読んでもらう心地よさを提供する「読み聞かせ」が行われている。学校や図書館などの公共施設、商業施設の子どもコーナーなど多くの場所、幅広い対象に向けられている。
高度外国人採用、EQ研修の実施
1. 地域での寺小屋・子ども食堂を開催している 2. 伝統芸能を普及
図書館・小中学校
エコサークル、エコッキング、SDGs勉強会を通じて、環境教育を行っています。 ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて、エクスカージョンを開催しています（年2～3回）
水生生物観察会などで、子供たちが環境問題に関心を持つよう取り組んで居る。
事業活動における労働災害・重大事故の根絶・ダイバーシティの推進 ・働きやすい職場環境の整備・人材開発の推進
環境監視等で得られた琵琶湖水質をはじめとする情報を環境学習に還元
水生生物観察会などで、子供たちが環境問題に関心を持つよう取り組んで居る。
一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワークでは、地球温暖化防止、グリーンリカバリー、資源循環等をテーマにしたセミナーを企画運営し、会員や一般市民に向けて、質の高い環境教育を届けている。
■近江八幡のたいまつ等、伝統文化の継承活動 ■「探求学習」や「職業講和」「大学等の課題研究」での連携や協力
特定非営利活動法人やんちゃ寺での居場所活動では、やんちゃ系の子どもたちが気軽に勉強に触れられるよう、子ども食堂に学習支援を付与しています
学校教育の現場へ、地域で働く人として、キャリア教育という時間を準備して下さるので、「くむんだー」木のジャングルジムのワークショップとそれにかかわる、水・森・木材・家づくりn話を少しさせていただいています。他に、子供会・こども支援・町協など、依頼をいただくと、必須でこの話を何度もさせていただいています。現場では、子供たちのみならず、親御さんたちにも同じように聞いていただいています。
多文化共生の地域づくりを目指したNPO等への助成事業を通じ、外国籍の方々への教育支援にも関わっています。
WHO unicef おおつSDGs@スクール SDGs保証（信用保証協会） 滋賀県立びわ湖フローティングスクール＝うみのこ NPO法人 D.Live
CO・OPコアノンロール・スクールプロジェクト、（対象コープ商品1品につき1円をアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」のために寄付する取り組み）・できるコづくり制度助成を通じた地域の寺子屋等の支援 ※できるコづくり制度の助成団体の取組みを通して他の目標にも対応しています
・エコサークル、エコッキング、SDGs勉強会を通じて、環境教育を行っています。・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカージョンを開催しています（年2～3回）
地域では「子どもの学習支援事業」（寺子屋事業）に取り組んでいます。長期休暇中の子どもたちの宿題支援をしたり、高校受験に向けた自習できる環境を提供したりしています。タブレット端末を準備できない子どもに貸し出しをしています。地域の学習塾がひとり親家庭などに限定し、安価で学習指導する場を提供しています。
高等養護学校の設立 草津養護学校の増築

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入	15	39点
----	----	-----

日本では十分な教育を受けシステムはできています
いじめ対策事業
世界の成人の識字率は平均で約80％に近い数値だが、低い国の識字率は30％を切っている。字が読めないと例えば、薬を飲み違えたり、選挙に行けず、就職にも困る。就学年齢ながら学校に行けない子どもが5人に1人いる。教育レベルの低さは経済発展の低さにつながっている。先進国でも問題なのは親にお金の余裕がないと高度な教育が受けられないという教育貧困の連鎖である。その連鎖を防ぐ財政的支援については種々の政策が講じられつつあるが、まだ十分とはいえない。
①日本の教育レベルは高い。ただし、海外で活躍できる人材を育てたり、これからの日本に必要な起業家を育てる仕組みは十分でない。国際社会で活躍できる人材を育てる教育は十分といえない。②国の学力テストで滋賀・大津の成績がよくない。小・中学生の基礎学力の向上が課題である。
市内団体が東南アジアの子どもに教育を受けさせるための支援を住民から募っている。
・6・3制の義務教育の実施。 ・高校、大学の充実。 ・民間の塾の対応。
地域の学校、事業所、博物館、美術館の取り組み
①同和地区などでの小中学生を中心に学習支援 ②一人親家庭に対しては不十分
各自治体の国際交流協会の学習支援、NPO、任意団体の学習支援活動、サロン活動
SDGs人材の育成 SDGs達成に取り組む人材の育成や持続可能な地域づくり支援に取り組んでいる。
大津市では、葛川少年自然の家を運営し、小中学生その他を受け入れ、様々なプログラムを提供することで、自然の中での集団生活と宿泊環境を通じて、明るくたくましい子どもの育成を図っている。
生活福祉課主催の初三学習会 学区社会福祉協議会の開催する寺子屋プロジェクトなど
P0の活動で不登校支援や子どもの相談活動をしている団体は、この目標も視野に活動している。また、外国籍の子どもで授業についていけず不登校になっている子どもたちも多いと聞いている
貧困家庭の子どもに勉強を無料で大学生が教えている（確か草津）

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

記入 25 64点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 11 33点

今年度で17回めになりますが、「天津市男女共同参画をすすめる市民フォーラム」に携わっています。多様化した時代に中でも、少しづつですが、ワークライフバランスの割合が欧米に近づいているような気がします。
天津市男女共同参画推進団体連絡協議会の活動を通じ、天津市と協働で、女性団体の活動支援や市民に男女共同参画社会の実現の必要性を啓発、実践している。
子育て、介護支援、フレックスタイム制度の導入
栗東市男女共同参画社会づくり協議会のメンバーで、企画書を作っています。
事業活動における労働災害・重大際額の根絶 ・ダイバーシティの推進 ・働きやすい職場環境の整備 ・人材開発の推進
会議委員へ、女性の積極採用
①県・市・企業については、幾分取り組まれているが、各家庭、地域によってはまだまだ不十分である
■2019年12月19日、「女性が輝く先進企業表彰」において、「内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰」を受賞
栗東市男女共同参画社会づくり協議会のメンバーで、企画書を作っています。
性差は新たな問題として受け止めることが必要だと考え、様々な場面で注意している。地域活動への女性の参画は少ないのでそこへの働きかけをしている。

★「知っている」と回答した取り組み

記入 14 31点

無関心はいけないと頭では分かりながら、どうして良いか良くわからない。>
男女共同参画推進フォーラム
子どものせいに向き合うセミナーなど自分の性に違和感を覚え、相談できないで悩んでいる子どもの声を聴くためのセミナーが開かれている。講師として自身も悩んでおられた方やその支援者が体験を話して、理解を広げている。
世界の成人の識字率は平均で約80%に近い数値だが、低い国の識字率は30%を切っている。字が読めないと例えば、薬を飲み違えたり、選挙に行けず、就職にも困る。就学年齢ながら学校に行けない子どもが5人に1人いる。教育レベルの低さは経済発展の低さにつながっている。先進国でも問題なのは親にお金の余裕がないと高度な教育が受けられないという教育貧困の連鎖である。その連鎖を防ぐ財政的支援については種々の政策が講じられつつあるが、まだ十分とはいえない。
男女共同参画への意識向上・働き方改革・家庭の子育てなどの取り組みが進められ、それなりの成果をあげているように思う。しかしまだ、全国的な改善傾向から見ると滋賀の平等レベルは低いようである。更なる改善努力を期待したい
ガールスカウト
テレビやネットでたまに活動を耳にする程度です。
「Biwako Meeting」の開催、ジェンダーフリーの実現にむけて若い世代のリーダー育成を目指すセミナーをシリーズで開催。
天津市女性活躍推進重点事業「Otsu プロジェクト-W」と称して、女性起業家支援、子育て支援、働き方改革等を総合的に進めることにより、女性が活躍する社会の実現を目指す取り組みをすすめている。

目標6 安全な水とトイレを世界中に

記入 31 72点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 14 32点

社会で供用することが、それなりに出来ています。
1. (勤務先) 水質浄化…廃水の浄化 2. 美しくおいしい水の出る井戸の確保
日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカーションを開催しています (年2～3回)
現役時代にインドネシアでヤシ殻活性炭を安価に製造するプラントを開発し、そのヤシ殻活性炭で該国での飲料水の浄化に 役立てる研究を実施した。
事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化
環境監視等で得られた琵琶湖水質をはじめとする情報を環境学習に還元
①県では流域下水道中長期ビジョンにより、下水道の普及と整備を推進し、びわ湖への負荷削減を図っている ②農業廃水・工場排水についても琵琶湖への負荷を削減するための取り組みをしている。
「くむんだー」のワークショップでは、びわ湖を取り巻く河川に興味を持っていただけるように。また、川から森へつづく お話をしています。
水道の蛇口をこまめに閉めている。 油を流しに流さないでふき取っている。
E S G地域金融の推進 閉鎖系水系の浄化技術を使った滋賀県産の陸フグの養殖にしがぎんニュービジネスサポート資金 (S D G s プラン) 等で支 援。
環境関連NPO等への助成事業を通じ、びわ湖の水質保全の向上に関わっています。
びわこ＊たいせつ活動の取組み (琵琶湖や森林づくりに関する学習・体験活動の実施)
日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカーションを開催しています (年2～3回)
県立学校のトイレの改修 非接触の水洗

★「知っている」と回答した取り組み

記入 17 40点

企業局 水道供給事業
発展途上国に清潔な井戸やトイレを提供する 日本の技術を提供し、遠いところに水を取りに行ったり、濁った不衛生な水を飲まないでもよい様に井戸を掘り、きれいな 水が飲めるように働きかけている。
世界の保健医療施設の4分の1は安全な水の供給が受けられない 状況にある。水道がない施設を利用せざるを得ない人が18億人いる。安 全な水がないために年間180万人の子どもの命が失われている。WHO で ?
日常生活に不便はない。

県・市が流域下水道計画に基づき、公共下水道の整備を計画的に進めている。
TOTO やクボタ、アフリカできれいな水、
クボタ 、TOTO
滋賀県の下水施工率100%近い展開。 ・浄水場整備。 ・水栓トイレの輸出（安価・高性能）。ウオシュレット
インドの最下層民の地域にトイレを作る取り組み、または、排泄物をたい肥にする取り組み、または、排泄物を取り出しやすくする取り組み
テレビやネットでたまに活動を耳にする程度です。
青年海外協力隊など
たねや愛知川工場では餡炊きや洗浄に使った水を工場内できれいにして排水
WHO・unicef・MSF 浄水場 上水道・下水道 水洗公衆トイレ プラスチックゴミの回収 ゴミを減少する運動
）大津市企業局と立命館大学の学生が水道水の持続可能性についてともに考え、学び、見学や意見交換を通して、当たり前を「再発見」するSDGs Discovery Field Work in 大津を実施した。
株式会社LIXILが発展途上国に簡易トイレを寄付している？というような話を聞いたことがあります。ユニセフに寄付することで、ユニセフが発展途上国にトイレを設置するような取り組みがあります。
ウォーターエイドジャパンのPRを見ている。井戸を掘削するNGOなど安全な水の活動をしているNGOは多いと思うがまだ困っているところが多いと考えている。
下水道の普及と琵琶湖の汚れを少なくする。安全な水を県民に届け琵琶湖の生態系を守る

目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

記入 36

92点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 19

52点

やっと日本でも推進することが大切な雰囲気が出て安心できるかなという段階です。2050年にはCO2を出すエネルギーは使わないという指針が出て取り組みやすいです。目標に向かってできる案を積み重ねられます。
エネルギーの供給について不自由はない。問題はエネルギー供給源で、地域外からの購入（国でいえば輸入）に頼っている。もっと地域のエネルギー自給率の向上を図るべきで、地産のエネルギー源の開発を推進してほしい。2030年に向け、水素発電事業を提案している。太陽光発電や車のエコ化の普及比率もまだ低い。
太陽光パネルの設置が進み二酸化炭素の排出を低減している。また、車もハイブリッド車の利用が進んでいる。自宅にも太陽光パネルを設置している。
パッシブエナジーの導入（木質バイオマス発電、太陽光発電）の導入、省エネルギー設備の販売
2011年3月11の東北大地震の原発のメルトダウンから原発を考える琵琶湖の会に所属して活動しています。未だに原子力緊急事態宣言が発令中の中です。避難者の生活保障や老朽原発の廃炉、をもとめています。自然エネルギーの推進。太陽光・地熱・風力・安全社会の確立
通勤から車を排除
省エネ、こまめな節電
家では太陽熱でお湯を作っています。
再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる。
家庭における省エネ機器の導入。 エコアクション21に取り組まれている事業者在省エネルギーの推進を提案
家庭のエコ診断、事業者への省エネ提案他、自治体への講演
事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化
化石燃料をなくすこと、再生可能エネルギーをより多くの人に理解してもらうための第一歩の取り組み。
再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる。
太陽光発電を導入している。
ESG地域金融の促進 グリーンボンドの引受やしがぎんサステナビリティ・リンクローン等を通じて、再生可能エネルギーの普及促進に努めている。
事業所への太陽光発電の設置 ・コープでんきの普及促進 （再生可能エネルギー(FIT電気)比率の高い電源構成での電気供給事業） ・廃油を活用したBDF燃料の利用 （車両燃料の使用量の約1/3で使用）
家では太陽熱でお湯を作っています
CO2ネットゼロムーブメントへの取り組み来年度へ向けて新しい計画を策定中

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入	17	40点
----	----	-----

宅配バッグ事業
発展途上国に清潔な井戸やトイレを提供する 日本の技術を提供し、遠いところに水を取りに行ったり、濁った不衛生な水を飲まないでもよい様に井戸を掘り、きれいな水が飲めるように働きかけている。
ソーラーパネル
化石燃料発電設備から天然ガスへの変換。
太陽光発電設置への支援
テレビやネットでたまに活動を耳にする程度です。
市民エネルギー団体（太陽光発電所）、個人宅の太陽光発電施設、電力会社
製造場所での太陽光パネルの設置
地域の木材を使うことによって、多くの燃料を使わず、運搬や加工ができることの大切さ、地域の森や木たちがきれいな空気を作ってくれることを、教えています。自身も、大工の仕事の中で、外国材を使わず、できるだけ地域の木材を使っています。
世界中が地球温暖化防止を推進しています クリーンなエネルギー・再生可能エネルギーを推進 太陽光発電・風力発電・水力発電・地熱発電・バイオマス発電 等々ありますが イチオシはCO ₂ とは無縁の水素発電（発展途上）だと思います
大津市再生可能エネルギー等利活用方針を平成26年に策定し、令和4年度の市内の家庭におけるエネルギー消費量に占める再生可能エネルギー等で創出されるエネルギーの割合を20%以上とすることを目標に市有施設における再生可能エネルギー等の導入等を進めている。
2030年代半ばには新車の100%を電動車にするという内容にする方向で調整しているという情報を聞いています。そのため、EV車やFCV車の購入に際し助成金が出るという話を聞いています。これをトヨタ自動車のFCV車購入予約が企業から入っているとディーラーから伺いました
電気自動車、ハイブリッドカーの発展
再生可能エネルギーは、太陽光発電だけでなく、地球に存在しているものを活用することで、今後も広がっていくと考える。
滋賀県湖南市は地域自然エネルギー基本条例を制定し、再生可能エネルギーの導入や地域新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」の設立など地域でエネルギーを生み出し地域で循環させる取り組みを行っている。(SDGs11 番や13 番にも関わってる)
玉川温泉水から水素生成・貯蔵
生協では再生可能エネルギー中心の電力を「コープ電力」として提供している

★「関わっている」と回答した取り組み	記入	18	48点
日本はその気になれば何でもできる国と思いますが、なかなかやり切れない国でもあります。政治に指導権を発揮して欲しいと期待しています。 ひきこもりの若者の就労。引きこもり就労していない若者が通常の就労では働けないが、少しのサポートや伴奏者があれば働ける。新しい雇用の形を提供していき、生活保護から少額でも納税者になっていく、就労を提供する 滋賀県更生保護事業協会の活動を通じ、滋賀県と協働で、刑務所出所者や刑の執行猶予者に対する、住むところと働くところを支援し、その重要性を県民に啓発している。 子育て、介護支援、フレックスタイム制度の導入 法人の収益と繁栄のカジ取り エコアクション21審査業務を通じて、省エネ効率経営の提案・アドバイスを行っている。 エコアクション21で、従業員の会社に対する誇りを持てる会社づくりの指導や助言、技術指導他 世界各地のお客様のニーズを満たす製品・サービス品質の維持向上 ・技術開発基盤の強化 ・サプライチェーンでのCSR調達の推進 ・事業活動における労働災害・重大際額の根絶・ダイバーシティの推進・働きやすい職場環境の整備・人材開発の推進 ・働き甲斐改革の実施。 ・71歳、週2～3日就業 琵琶湖で厄介者とされている水草を活用した製品開発へ支援 地域課題に貢献する仕事（たい肥商品、ガラス工芸品）の実現を推進 ■親が働いている姿をこどもが見学する「こども参観日」の実施 ■ワークライフバランスを見直すきっかけとして、様々な講師を招き、社員に向けたセミナーを開催 休暇をきちんととっている。 サタデー起業塾 社会的課題解決に資するニュービジネスの支援・育成を目指し、起業を目指す個人やベンチャー企業、第二創業を支援する勉強会を継続実施。優れたビジネスプランを表彰する「しがぎん野の花賞」ならびに特別賞「SDGs賞」がある。 日常生活や成長に困難を抱える若者(就労、就学を行っていない若者)の支援に取り組むNPO等への助成事業を通じ、関わっています。 政府・自治体・各法人・各企業・経済団体・SDGs企業の認定 農福連携の子会社「株式会社ハートコープしが」・県内・産直農産基金の取組み（対象商品利用利用1点につき1円を積み立て、産地が被災した場合の支援に活用） 「働き方改革」。ライフ・ワーク・バランスの実現のために有給休暇取得率up、ノー残業デイを設ける、子ども手当をつけるなどの取り組みをしています。他の企業も子育てや介護のために休暇をとりやすくするなど環境を整えておられます。 NPO 法人縁活では、農を中心とした障害者の就労支援を行っている。農業では自然栽培に取り組みSDGs15 番や10 番にも関わっている。			

★ 「知っている」と回答した取り組み	記入	7	16点
コロナ対策にかかる事業者支援 この両者の並立は難しい面がある。経済成長のために働き甲斐が、犠牲になることは通常起こりうることである。グローバル経済下では特にそうであった。働き甲斐の向上が生産性の向上につながり、そして経済成長につながるには、経営者と労働者双方の意識の改革・組織の改変・新しい技術の導入などの基盤整備が整わないといけない。発展途上国では（先進国でも景気後退期には）生活を支える仕事を見つけることが先決であろうから、働き甲斐は二番手になる。 一つの課題は、県や市の大学卒業生が地元就職しないことである。地元企業や行政では働き甲斐がないというのでは寂しい。若い人材が就職しない地域の経済成長は期待できない。大学卒業生が地域にとどまるような魅力のある対策が不可欠である。 大津市では、子育てにおけるシェアリングエコノミーの取組、によって、子育て中の方も働きやすい環境を整え、地域で子育てを支えるまちづくりを進めている。 働きたい人と雇いたい人のマッチングを行い、外国人の介護労働者育成をしている団体がある。 シングルマザー、非正規社員等の相談に応じている 働き方改革の推進 DXの推進 滋賀SDGs×イノベーションハブの取り組み			

目標9 産業と技術革新の基礎をつくろう

記入 1 3

33点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 7

18点

DX（デジタル）の推進販売から、施工までワンストップでの提供
勤務先の繁栄に努力
・世界各地のお客様のニーズを満たす製品・サービス品質の維持向上 ・技術開発基盤の強化 ・事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化
琵琶湖で厄介者とされている水草を活用した製品開発へ支援 地域課題に貢献する仕事（たい肥商品、ガラス工芸品）の実現を推進
質SDGs×イノベーションハブ 官民の連携により、滋賀県に社会的課題解決ビジネス推進する組織。これまでに十数件の取り組み事例が紹介されている。
太陽光発電や蓄電池などのスマートエネルギーの普及促進に企業が取り組んでおられます。公用車にEV車「日産リーフ」を所有しており災害時の電気供給に備えています。
中小企業向けの見える化省エネ診断を実施している。

★「知っている」と回答した取り組み

記入 6

15点

将来的に考えれば最も大事なことで、目的意思を持った活動なのでお手伝いしたい。政治の無策が心配です。
企業誘致制度
第4次産業革命といわれる。通信技術・AI活用・再生可能エネルギー開発・モビリティの革新（EV車など）・資源利用の効率化・排出CO2のCCS（貯留）・先端医療・ワクチン開発など、目まぐるしい進歩である。課題は分断ではなく協調によって、人類全体の福祉の向上にどこまで寄与できるかにある。
企業誘致も大事だが、企業における技術開発と事業化に対して行政として先を見た連携を強化していくことが必要で、結果だけを追ってでは間に合わない。滋賀や大津をどのような地域にするのかというビジョンを持って、産業振興・技術革新支援・スマートシティの構築などにもっと取り組むべきである
大津市では、ICTの利活用も含め、オープンデータ等の分析を行い、テクノロジー等を活かして施策につなげるイノベーションラボを設置して取組を進めている。
DXの推進 自動運転の実証研究 水環境ビジネスの推進

目標10 人や国の不平等をなくそう

記入 28 64点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 15 39点

発達障害、ギフテッドについての啓発活動
発達障害、ギフテッドについての啓発活動
人権を守る大津市民の会に属し、人権を考える大津市民のつどいに携わっています、人権尊重を基盤とした個性と魅力あふれるまちづくりをめざして、様々な人権課題に取りくんでいます。
障碍児の通常学級登校・インクルーシブ教育 障碍があっても希望すれば健常の子どもと過ごせるように配慮してもらい、共に過ごせる教育の機会提供。また、健常であっても配慮が必要な子どもにはその子にあった場所や、教育の提供がなされる。
勤務先にて従業員の人権の尊重
草津市人権センターにて人権講師として登録していて、人権に関する講演会を年5～10回行っています。
廃棄物・汚染土壌・建設残土等の悪質処理業者を無くす法律の制定。
事業活動における労働災害・重大際額の根絶 ・ダイバーシティの推進 ・働きやすい職場環境の整備 ・人材開発の推進
廃棄物・汚染土壌・建設残土等の悪質処理業者を無くす法律の制定。
草津市国際交流協会では、滋賀で暮らす外国人向けに、「日本語教室オンライン」、「やさしい日本語ひろば」事業を展開しており、留学生を含めた外国人住民が、日常の暮らしに困らないための日本語や日本の習慣・文化などを学ぶサポートを行っている。
■社内制度、賃金、社会保障などの整備、ルール遵守の監視やヒアリングシステムの構築
特定非営利活動法人やんちゃ寺では、社会的に孤立していきがちな子どもたちの居場所を運営しています。
国内外におけるフェアトレードを含むエシカル消費の促進
草津市人権センターにて人権講師として登録していて、人権に関する講演会を年5～10回行っています。
東近江は外国人も多く、多文化共生が求められている。いきなりこの目標ではなく、お互いに理解することからこの目標が達成できると考え、はじめの一歩の活動をしている。

★「知っている」と回答した取り組み

記入 13 25点

言うは易し、行うには難しのテーマで努力するというだけで、具体的には何もできていない。
人権を考える市民のつどい
国が置かれた地政学的条件（気候・資源・災害など）は簡単に動かすことはできないから、国やそこに住む人は、元々平等ではない。その不平等を緩和するのは交易交流である。従って交易交流（移民を含む）が自由に行える体制を守ることが不平等をなくす前提となる。世界的に見てその前提条件は「ない」とはいえないが「不十分」とはいえる。「なくそう」という方向に向かうということなら前進できるだろう。しかし現状はまだ壁が厚い。
ひとつとして米国の黒人の運動
共産党への関心、理解を含める。

①姿や性格・学力などの違いによる差別（いじめ） ②生まれた地域による差別 ③人種による差別
国際NGOなど。
unicef WHO MSF 国連 国政 自治体 社会福祉協議会
大津市では、平成29年に、おおつレインボー宣言を行い、窓口にレインボーフラッグタペストリーを掲示するほか、職員研修を実施している。
ユニセフの募金やマンスリー・サポーターなどでしょうか…
外国人差別・ヘイト発言などの相談に応じている
COVAXファシリティ（コロナワクチンの共同購入）日本が率先して参加した

目標11 住み続けられるまちづくりを

記入 39 105点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 27 77点

やる気はあるが、行政との間で聞き合う
大津市の「ごみ減量と資源再利用推進会議」に携わっています。食品ロスをなくするために「3010運動」の啓発を行っていますが中々浸透していません。企業努力もみられますが、今後は、リユースについての取り組みが活発化すると思います。
子どもの川清掃や町パトロール 次世代を担う子ども達が瀬田川の清掃や危険な場所の地図を作り、自分の街に興味を持つ。そして、住みやすくなる工夫や美化を考え行っていく。
住みよいまちづくりのため、地域の環境整備活動や防犯活動に参加している。行政も各種支援や情報の提供を行っている。
レジリエンスの強化
真野学区で地域の街づくり協議会を立ち上げる準備をしています。 NPO法人ライティング心と未来の事業で、『令和の街を考える会』を2021年1月に真野市民センターに発足します。
社会福祉協議会の役員として参加
大和証券
日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカーションを開催しています（年2～3回）
和邇学区自治連合会のまちづくり協議会と交渉中。 廃棄物・汚染土壌・建設残土等の他府県からの持ち込み禁止
自治会活動に携わっており、明るい、住よい街づくりに取り組んでいる。
2050ネット0について、滋賀県との意見交換や自治会活動等
・コンプライアンスの徹底および腐敗防止 ・情報セキュリティ対策の推進・強化 ・事業継続マネジメントの継続的な拡充
・住み心地よいまちNo1、住んでみたいまちNo1、草津市。 ・ボランティアサークル草津ガーデニングサークルグラッシー の活動支援。
休耕田を利用した農園を運営し、障がい者、高齢者、社会的弱者の方の社会参加、賃金向上に貢献。幅広い世代の交流の場の提供により、共生社会を実現する。
河川・湖沼の水質、大気における環境基準等（有害化学物質）の監視 排出事業所あれば指導
和邇学区自治連合会のまちづくり協議会と交渉中。 廃棄物・汚染土壌・建設残土等の他府県からの持ち込み禁止
■里山の保護を目的に2013年から八幡山の竹林の整備を続けている ■地域の「北之庄沢を守る会」の清掃活動に参加
何世代も受け継いでいく住宅ですが、現代の家は短命です。早く・簡単に熟練した技が不要・安い、世間を支配しているようですが、樹齢にあった家づくりをしています。また、今年伝統技術が、ユネスコ無形文化遺産登録されます。先人が培ってきた技をなくすわけには行けません。大型店舗が顔を利かしていますが、自治そのものが、ベッドタウンにするのではなく、小さく身近に仕事があることが必要と考えています。買い物も、そう心がけています
E S G地域金融の推進 地域循環共生圏の構築や課題解決に資する様々な環境関連金融商品・サービスの提供により、お金の流れを通じて持続可能な社会創りを実践。
）大津市では、立地適正化計画を策定（令和3年4月予定）し、拠点等の人口密度、しいては都市機能を維持することで、持続可能なコンパクト＋ネットワークのまちづくりを進める。
お買い物サポートカーの運行 ；全職員の認知症サポーター研修受講 ・自治体との（高齢者等）見守り協定の締結 ；組合員どうしが助け合う仕組み「ささえあいサポート」の運用 ；宅配トラックの「子ども110番」登録 「飛び出し注意」看板の設置による、交通安全の啓発活動
日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にてエクスカーションを開催しています（年2～3回）
学区社協をはじめとする地域福祉活動 ボランティア活動
国土交通省、環境省が推進している交通弱者のラストワンマイルの移動手段を確認するためのグリーンスローモビリティ導入を啓発・普及するための活動に取り組んでいる。
自分の町を住みよくするためには、自治自律したまちづくり活動そのものなので、この目標をもとに事業を行なっている。

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入 12 28点

人口増加の取り組み（待機児童の解消、空家対策等）
世界には歴史・景観・文化などの各方面で、個性的な魅力ある「まち」は多い。もちろんそうでない「まち」も多いが、少しでも住みやすい「まち」にするにはどうするか。住民自身が考えることが大切で、行政はそれを支援することである。住み続けるには一定以上の基盤（福祉・環境・教育・交通・生活物資など）が必要である。しかし前提条件が整わない「まち」も多い。どうしてこんな所に人が住むのだろう か という「まち」もある。それでもそこに住む人にとっては捨てられない何ものかがある。だから一つの価値観を押し付けることはできない。 どうにもならないなら逃げ出すに限る。その自由ではなくさないように。
大津市はこの項目を市の政策目標にしている。琵琶湖に魅せられて他地方から移住してきた人たち（私もその一人）は、それなりの満足感はあるが、「活気がない」という意見が多いことは事実。大津は隣の京都に引けを取っている。もっと独自の魅力づくり、特徴あるまちづくりに期待したい。
税金を使って一新する
大津市内でも、オールドタウン（高齢化した住宅団地）が増えているが、市や地域ではまだ十分な取り組みができていない。高齢化して自家用車を利用しなくなると、それに代わる交通機関を考える必要がある。例：彦根・長浜などで実施されているタクシーの利用への配慮、路線バスの経路変更による利用のしやすさなどの取り組みがなされている。
地域での小規模デイサービスをNPO法人として行っているなど
都道府県 自治体・自治会等の主導する団体或いはグループ等々 社会福祉協議会や種々のボランティア団体等 例・おおつ環境フォーラム 大津市地球温暖化防止活動推進センター 平野まちづくり協議会 レイカディア大学同窓会大津支部等々
市のマスタープランにコンパクトシティ化構想の説明を受けました。加えて交通ネットワークの再構築について検討の必要がありますが、公共交通については基幹公共交通を残し、その周辺の交通に関しては市民や企業の努力なしには望めないと聞いています。
岡山県の西栗倉村では、「上質な田舎」を掲げ、百年の森林構想をはじめとしたまちづくり・地域活性化を行っている。それぞれの取り組みはSDGs7 番や15 番などにも関わっている
防災・減災に取り組んでいる
空家対策

目標12 つくる責任つかう責任

記入 41 110点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 21

64点

資源ごみ（生ごみを含む）のリサイクル（燃やして熱利用するのは真のリサイクルではない）率が低い。つくる側とつかう側が協力してリサイクル率の向上に取り組むべきである。また大津市では新たな焼却施設が稼働するが、焼却炉の稼働率を上げるために、ごみ減量の取り組みがなおざりにならないよう注視することが必要となる。
食材をはじめ消費財を無駄にしないよう常々家族を啓発し、廃棄物を削減するよう努力するとともに、生ごみは堆肥にして家庭菜園に利用している。また家庭菜園の野菜育成に当たっては、可能な限り無農薬・有機肥料によるよう努め、土壌の活力を維持することを意識している。
ごみの分別廃棄、リサイクル、有機肥料の使用などかなり定着してきている。
3 Rの推進 ライフサイクルコストに配慮した製品の販売
・毎年3～4回無料ぶつぶつ交換会を開催している ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にてエクスカージョンを開催しています（年2～3回）
・事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化
・関西電力から大阪ガスへ乗り換えた。原発反対。 ・ごみ分別回収への参加。4Rの実施。
エシカル消費、グリーン購入を意識して生活に取り入れている。
滋賀県と一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワークでは、「グリーン購入+エシカルキャンペーン」にて、環境や人にやさしい行動を宣言してもらった活動を企業や団体、一般消費者に向けて呼びかけを行っている
■東近江市にある自社農園で無農薬のよもぎを栽培 ■「焼きたてバームクーヘン」を包装するトレーをプラスチック製から紙製に変更 ■CLUB HARIE e-challengeでは、バームクーヘンを丸太からカットする際に出る“みみ”の部分を商品化
核のごみの最終処分が決まっていないのと同じように、家づくりの建材も処分できないものがたくさんあります。30年という短い家の寿命では、家のゴミがたくさんできてきます。最終土にかえっていかないものばかりです。私は、木材を大量に使い建材を控えるようにしています。これがつくる責任だと思います。ストローやレジ袋の問題程度ではないと思います。
レジ袋削減のためにマイバックを持ち歩いている。 ペットボトルゴミ絵を減らすためにマイボトルを持ち歩いている。
E S G地域金融の推進 地域循環共生圏の構築や課題解決に資する様々な環境関連金融商品・サービスの提供により、お金の流れを通じて持続可能な社会創りを実践。
・エシカル消費の推進 食の安全の確保と情報提供・地産地消の推進・リサイクル事業の展開による資源効率とフードロスの改善（野菜くずのたい肥化、魚のアラの資源活用など
毎年3～4回無料ぶつぶつ交換会を開催している。・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にてエクスカージョンを開催していま（年2～3回）
3010運動」は所属機関で取り組んでいました（現在はコロナ禍で会食をしていませんが）滋賀県が「三方よしフードエコ推奨店」の登録を行っています。
カン・ペットボトル・びんのリサイクルを行いゴミの分別収集を行っている。クールチョイスに取り組んでいる
ゴミの分別、リサイクル
エシカル消費の推進 しがグリーン購入の推進

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入 18 41点

賞味期限が近い商品を取り扱う店舗
大量生産の抑制 恵方巻や土用の丑のうなぎなどは注文制とし、一般の販売数を減らして売れ残りや廃棄を減らす。賞味期限間近の商品には値下げやポイントをつけて廃棄物を減らしている。
大量生産・消費・廃棄という時代は過去となった。「つくる」側でも効率的な資源活用が進んだし、RE100（自社だけでなくサプライチェーンを含む）を目指す企業も増えつつある。またE S G投資も始まっている（既に30兆円）。「つかう」側もエシカル消費が注目されている。「つかう」側が主導権を握れば「つくる」側はついてくる。その意味では「つかう」側の意識改革が必要である。まだ十分とはいえないが正しい方向に進んでいるといえ
滋賀銀行 封筒の廃止
食品ロスについて
牛乳パック等の再生利用
ごみのリサイクルなど
製品による省エネ効果を評価し、製造業における温暖化対策の取組努力として見える化し、推進する貢献量評価制度の導入
ペットボトル回収、リサイクル プラスチックごみの削減 ダウン（羽毛）の回収、リサイクル
①食品ロスの問題。例：雄琴旅館街での取り組み ②プラスチックやペットボトルなどの問題 などについて、県・市・企業・各家庭などの連携した取り組みが不十分である。例：分別回収によるリサイクルの取り組み
ガラス瓶リサイクル、携帯電話金属リサイクルなど
テイクアウトのゴミ削減 使用済み核燃料の処理 ポリ袋から紙袋 エコバッグの使用 ポリ製ストロー禁止 食品ロスを極端に減らす ペットボトルは必ず指定の場所へ捨てる おおつ環境フォーラム
大津市では、事業所における食品ロス削減の取組の一環として、正しいドギーバッグの使用を推奨する運動を進めている。
牛乳パックなどの資源回収をスーパーや製造業が担っている
生活者が求める生産と消費は社会の循環を促す意味で大切な取組だと考え努力している。エシカル消費を通して学ぶことが大切である
工房シーダーノは、プラスチック問題や環境問題、農業の問題に関心を持ってもらうために、無農薬栽培で作られた大麦の茎で麦ストローを作っている(SDGs14 番や15 番にも関わっている)
リサイクル率11%11年連続日本一→（大崎町システム）⇒83.4% 燃やさない 埋めないごみは全て資源という精神で行動 焼却施設がない（更改資金なし）→埋立地不足 → 埋立地処分地の延命2ステップで学ぶ自治体SDGS事例でみるまちづくり（笹谷秀光著・2020年11月20日）世界標準大崎にむけてでNET検索 先駆者徳島県上勝町と同じ構想
近所にエコイトがあり食品ロス削減に取り組んで多くの賞味期限間近の商品が販売されており、素晴らしいことだと思います。

目標13 気候変動に具体的な対策を

記入 44 107点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 28	69点
-------	-----

国も滋賀県もゼロ宣言をされて、これから一生懸命にやろうとしておられる。遅きに失した感はあるものの追いつきたいものだ。	
滋賀・大津は幸い自然災害が少ない。気候変動に伴うリスクもそれ程受けていない。その結果、地球規模の気候変動に鈍感ともいえる。しかし、次世代のことを考えると安閑とはできないはずである。省エネ・創エネ・蓄エネなど、次世代を先取りする政策をもっと積極的に行進しなければならない。	
市民向けの適応策の勉強会をやっている。	
県地球温暖化防止活動推進員として温暖化防止のための啓発活動への参画	
パッシブエナジーの導入（木質バイオマス発電、太陽光発電の導入、省エネルギー設備の販売	アイドリングストップ
・地球温暖化防止活動推進員で、啓発活動をしています。 ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカッションを開催しています（年2～3回）	
石炭火力発電所の削減運動。自動車の小型化など。	
2050年しがCO2 ネットゼロ協議会に参加し、2050年に二酸化炭素の排出をゼロにする活動に参加している。	
事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化	
エアコンは使わない。扇風機 電気エネルギーで部屋を暖めない。 省エネに勤める。生ごみはすべて畑で処理	
地域高齢者サロンにて、地球温暖化防止対策の出前講座の実施	
1、滋賀県地球温暖化防止活動推進員としての活動を7年間継続中。特に、地域・学校での出前講座に注力しており、県温暖化防止活動推進センターで教材開発チームリーダーとして活動中	
2、環人8 プラスという滋賀県立大学地域再生学生会近江環人を卒業したメンバーで組織した活動の代表として、「気象異常宣言」活動を進めている。	
暮らしの中の省エネ活動、省エネ運転など	
地域や学校で気候変動対策につながる環境教育を推進するとともに、地域での取り組みを進めている	
滋賀県地球温暖化防止活動推進員として、活動しています	
石炭火力発電所の削減運動。自動車の小型化など。	
移動にはなるべく公共交通機関を使う、電気自動車の推進	
■「ラ コリーナ近江八幡」での「どんぐりプロジェクト」、環境学習など ■「琵琶湖水草堆肥」を「ラ コリーナ近江八幡」の森づくりに循環利用 ■CO2削減・地域の水資源や生物多様性の保全などのテーマを盛り込んだ「たねやグループ環境方針」を制定	
熱帯雨林の木材を思いの存分、お金儲けのため大量に伐ってきたのは日本人です。切られて困る熱帯雨林。真っ暗な森のままでどうしよう！と、伐らなくて困っている日本の森。私は国産材（地域材）しか使わないので貢献していると思います。	
電気をこまめに消している。	
ESG地域金融の促進 グリーンボンドの引受やしがぎんサステナビリティ・リンクローン等を通じて、再生可能エネルギーの普及促進に努めている。	
植栽・間伐・里山づくり等へ取り組むNPO等への助成事業を通じ、自然災害に対する強靱性の強化に関わっています。	

コープの森余呉・コープの森あぶらひの取組み（滋賀県森林づくりパートナー協定による、森林整備支援） ・再生可能エネルギー(FIT 電気)の普及促進 ・環境に配慮した商品の普及
・地球温暖化防止活動推進員で、啓発活動をしています。 ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカーションを開催しています（年2～3回）
太陽熱の温水器を取りつけている。風呂の水で洗濯をし、残りの水を庭の植木・プランターに散水している。マイボトルの携帯。エコ クッキング（余熱の利用、ゆで汁）
しがCO2 ネットゼロムーブメント

★ 「知っている」と回答した取組み	記入 16	38点
-------------------	-------	-----

ビニール袋の有料化
台風、豪雨に備えての環境整備 想定外の災害が起こってきているので、堤防や川の整備を行っている。また、夏休みなどに公共機関を無料開放して家庭で使う（クーラーなどの）エネルギー削減を行っている
コロナ禍で2020年の世界のCO2排出量は7%位減ると予測されているが、それでも大気中のCO2濃度は減らない。このままいくと今世紀末の気温は4℃上昇する恐れがあるという。ただ、パリ協定を守ろうという国が増えており、主な国が2050年温室効果ガスゼロを宣言している。これでアメリカがパリ協定に戻ってくれば希望は持てる
食品ロスについて
企業・・・蛍光灯をLEDに提案して実行された。県の助成金を活用。 自身・・・ウォームビズ、クールビズの実践。
温暖化対策に関する施策の実施
①異常な大雨・強烈な台風・雪不足・大雪などの気候変動に対して明確な指針や対策が必要（河川・びわ湖・森林など）②気温・水温の上昇による動植物への影響に対する対策が必要； 例；水産試験場による調査 ③気候変動に伴い動植物の調査が必要
滋賀県は、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指し、県民、事業者等多様な主体と連携して取り組む「しがCO2ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言を行った。
大津市では、気候変動イニシアティブに参加し、世界首長誓
約に署名する等、気候変動対策へのスタンスを表明している
モルディブに旅行した友人から、温暖化により南太平洋の島が沈むと聞きました。 企業はCO2削減や節電、LED照明の採用などに取り組んでいます。研究者が海面上昇に対応できるような
CO2の増加による大型台風や南の島々の洪水被害など、早急に対策を建てないと地球全体の問題として不安な社会になる。エネルギーの問題と関わるので、私たちの場合の取り組みはそこから具体的に活動する方がわかりやすいと思う。
Fridays For Future 滋賀は滋賀県を拠点に主権者教育、政治参加、環境問題などに取り組み、将来の世代に美しい地球を残そうとアクションを起こしている。出張講演も行っており、SDGs4 番などにも関わっている。
リサイクル率日本一→（大崎町システム）⇒生ごみの肥料化 燃やさない埋めないごみは全て資源という精神で行動 焼却施設がない（更改資金なし）→埋立地不足→埋め立て処分場の延命 3ステップで学ぶ自治体SDGs事例でみるまちづくり（笹谷秀光著・2020年11月20日）世界標準大崎に向けて」で検索
（大津市、蒲生軍日野町、高島市）生ごみのたい肥化 温暖化防止に貢献 株式会社日映志賀、株式会社日映日野株式会社日映今津
岡山市真庭市 生ごみとし尿を用いた肥料の製造 温暖化防止に貢献 焼却ゼロ：CO2削減

目標14 海の豊かさを守ろう

記入 45

67点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 15

28点

課題が2つある。①琵琶湖の「全層循環」が2年連続で起こらず湖底の酸素が欠乏しているという。温暖化の影響と思われるが今後温暖化が更に進むという前提で、調査段階から解決へと進んでほしい。②琵琶湖の漁業の不振である。後継者不足や外来魚の弊害で固有種が減っているというが、解決に向けて「琵琶湖の活用的好循環」を目指して積極的な対策を講じてほしい。
レジ袋の削減と共にマイバック持参
びわ湖を守る会に入りびわ湖を美しくする活動
海水でなく地下海の海水を利用した企業の取り組み
森林づくりパートナー協定の事務局をしています ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にて エクスカージョンを開催しています（年2～3回）
プラゴミの削減と排出に気をつけている。 プラスチックを排出するものは出来るだけ購入しない
ごみ分別回収の実施。　・買い物エコバックの展開。4Rの実施
海のエコラベルのついた商品を購入。プラスチックごみを減らす。
琵琶湖の栄養塩が効率的に在来魚介類につながり、水質と生態系が両立する手法、評価方法の研究
多様な種類の生物が多様な環境の琵琶湖に生息する環境づくり 例えば、砂地・岩礁帯・泥地の湖岸に多様な種類の生物が生息する環境づくり《例；里湖づくり》
■琵琶湖の環境保全のため「ヨシ刈り」に毎年参加
滋賀県には海はありませんが、びわ湖の水質保全に向けた取り組みをしているNPO等への助成事業を通じ、関わっています。
・環境に配慮した商品の普及

★「知っている」と回答した取り組み

記入 20

39点

単純に言えば、できるだけ熱心に活動できるかどうかだけです
ビニール袋の有料化
ゴミ清掃　浜辺に落ちているゴミ（特にペットボトルやスーパーの袋などのビニールゴミ）を拾い、海に流れていかないようにしている。ウミガメなどがビニールを食べて窒息死している映像を見せてゴミを捨てないようにアピールしている。
課題が少なくとも3つある。①海洋プラスチックごみが海に棲む生物の生命を脅かしている。②乱獲で漁業資源の枯渇が心配である。そして③海水温の上昇が海の生態系を乱している。課題の③は温暖化と関わるので解決は長期に及ぶが、①と②は対応可能である。そのためには国際的な取り組みが求められる。
マザーレイクフォーラムを通じて市民が琵琶湖の生態系を守るために議論している
滋賀銀行封筒の廃止

食品ロスについて
植林により川から海への栄養
プラごみの問題
コープしがでは、“びわ湖を大切にすること”を育む「びわこ＊たいせつ」活動の一環として「びわこ清掃ウォーク」を開催、約500人でびわ湖岸の清掃活動を行っている
豊かな海づくり大会実施
琵琶湖の水草を有機特殊肥料に再生 琵琶湖に繁茂する外来種の水草を、有用微生物入り有機特殊肥料として販売している
プラスチックゴミ・ビニールごみ・ペットボトル等の回収 漂流物の回収 トイレ（船舶を含む）等々の浄化 びわ湖＝浮草等の回収 外来種魚の除去 汚泥浚渫
立命館大学 Sustainable Week 実行委員会 では、大学内で販売されるパンの包装を、ビニールから、大学内で出た紙ごみを再生紙にしたものに替えることで、プラスチックごみを削減し、海洋汚染防止につなげている。
廃プラ問題に対し、集めた廃棄プラスチックを再利用する会社「プラスバンク」を小学4年生の子どもが、社会科で廃プラ問題を学んでいる時に知りました。
外来魚駆除イベント 琵琶湖を美しくする運動
海流の変化による漁場の変化や、各国の食料としての漁場確保など、ともにルールをつくるのが大切だと思うが、まだその合意にも至ってない。プラスチックによるゴミの生態系に与える影響も大きいと思う
大津市企業局では、マイボトルを持ち歩くことでごみを減らし琵琶湖の保全を推進するために、市内の幼稚園でマイボトル制作を推奨している。（SDGs4 番や6 番にも関わっている）
ある漁協で小さい貝・魚は捕らないようにしている
びわ湖の保全（外来生物の駆除 在来魚類の保全 プラスチックごみ・マイクロプラスチックへの対策）

目標15 陸の豊かさを守ろう

記入39

94点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 22 56点

卒業記念植林活動 小学校の卒業記念にクラスで数本の木を植樹した。そこを通ると子どもも思い出し、きれいに保ちたいと思っている。小さい活動だが子どもが関わる活動は続けていこうと思う。
最大の課題は森林資源の保全と活用である。荒れた山林の整備・里山の活用を所有者の責任として放置するのではなく、行政と市民（所有者を含む）のパートナーシップで解決する仕組みづくりと規制緩和を進めてほしい。
地域の生態系を守る意識を持ってもらうために、子どもの自然教育を行っている。
アイドリングストップ 奥びわ湖・山門水源の森の支援
森林を守るボランティア参加
植林
森林づくりパートナー協定の事務局をしています ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にてエクスカーションを開催しています（年2～3回）
しがの里山や川を守る活動に取り組んで居る。
事業運営における環境配慮活動の推進 ・環境配慮製品・サービス拡充 ・環境経営基盤の強化
・緑化活動への参加。 ・募金活動への参加。
植林活動、清掃登山、地域に花木、植物を増やす。
地域の耕作放棄地を借り花蓮栽培を行っている。数年前まで荒れ果て、被害も多かった3ha強の土地に夏になると花蓮が咲き乱れる。トンボやザリガニ、チョウなどの虫が生息するようになり、人が入ることで被害も減った。
在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究の推進。 ヨシ群落など産卵、生育の場の再生
しがの里山や川を守る活動に取り組んで居る。
①多様な生物が生息する環境を維持する取り組み。特に、森林の開発により、動物が棲める環境が少なくなっている。日本でも動植物の数は年々減少し、危機的な状態である。《例；子どもたちの「森っ子」の取り組み》
里山を守る活動、被害を防ぐ活動
■2009年から「ラ コリーナ近江八幡」で始まった「どんぐりプロジェクト」。目標は10万本の植樹。■「ラ コリーナ近江八幡」の敷地の中心に田んぼがあり、土づくりから田植え、収穫までを通して素材をより深く学んでいる
山・森・川・里・町・田畑と自然豊かですが、そこには生物多様性が育まれています。とりわけ森を健康な状態にすると、すべての環境が良くなると信じています。微力ですが森から搬出される木材を健全に使っていくことを実践しています。
県内のNPO等への助成事業を通じ、森林の持続可能な管理に関わっています。
環境保全型農産物の普及促進（滋賀県こだわり農産物など） ・森林整備による生物多様性の保全 （滋賀県生物多様性取組認証制度3つ星取得）
森林づくりパートナー協定の事務局をしています。 ・日本文化や持続可能な暮らしを体験できる南比良にてエクスカーションを開催しています（年2～3回）
森の豊かさを推進するための基金への寄付集めを行い、活動団体への資金援助を行う活動の広報活動をしている。

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入	17	38点
----	----	-----

自然にあふれた街づくり期待したい。
環境探偵団
(内容) 乱伐や山火事で森林資源が減少(毎年520万ヘクタール)している。絶滅危惧種が増加(1日に100種が絶滅)している。他方、2050年CO2排出実質ゼロを目指すには、「植林」を増加させなければならない。エネルギーを薪に依存している国もまだ多い。耕作地の改良や焼畑農業も見直さなければならない。今後、森林資源をどう確保していくかが課題といえる
FE0自給圏ネットワークの事業「朽木木の駅プロジェクト」では、間伐材を活用する仕組みを作ることで、森林の適切な管理を勧めようと活動している。
滋賀銀行の封筒の廃止
森林を植えていく
動物保護
ゴミの問題
日本農業遺産認定 環境こだわり農業、魚のゆりかご水田などを「琵琶湖環境システム」として国連食糧農業機関に申請。人と自然に優しい持続可能な農林水産業活性化と世代継承を目指している。目標6、14、15が関連
MSF WHO 農林水産省 農業協同組合 森林組合 植樹作業 森づくり運動 農地整備 河川整備 インフラ整備
大津市では、地域住民が自主的に公共施設の樹木を維持管理する体制として、グリーンレンジャー制度の推進を図るほか、公園愛護会活動を継続して支援してい
たくさんの魚や水鳥達が住処としている琵琶湖湖畔のヨシ原の「ヨシ刈りボランティア」を集めヨシ刈りをし、生態系を守る努力をしている
植樹活動、ビルの屋上に緑を増やす取り組み
里山保全 林業支援
東近江市愛東地区では、「菜の花」の栽培、食用油の採取、廃油の回収など環境問題や農業の抱える問題を解決する資源循環型プロジェクト「菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいる。(SDGs11番や12番にも関わっている)
里山の保全、耕作放棄地の有効利用に取り組んでいる
森林の整備 無花粉・少花粉スギ・ヒノキの種子の生産開発

★「関わっている」と回答した取り組み	記入	8	12点
社会福祉協議会活動にて実施			
草津市人権センターにて人権講師として登録していて、人権に関する講演会を年5〜10回行っています。			
コンプライアンスの徹底および腐敗防止 ・情報セキュリティ対策の推進・強化 ・事業継続マネジメントの継続的な拡充			
特殊詐欺等の阻止 窓口での高齢のお客様から多額の現金引き出しの申し出があった場合、資金使途の確認に加えてお振込みや発行手数料を原則無料とした預金小切手の利用を勧めている。			
ヒバクシャ国際署名など核兵器廃絶への取り組み 戦争の記憶を継承する取り組み (ピースアクションinヒロシマ、ピースアクションin沖縄への参加、県内戦争遺跡巡りの実施など)			
草津市人権センターにて人権講師として登録していて、人権に関する講演会を年5〜10回行っています。			
近所の方達との日頃の交流			
保護司の活動			

★ 「知っている」と回答した取り組み	記入	15	32点
マスタープランが無く、何を何時までかの案がないのでは。			
平和の鐘つき			
小学校、中学校の修学旅行先が広島や九州に行くことが多い。 原爆を投下された国として、戦争の恐ろしさや怖さを教育していくのは大切である。学校の先生も熱心にされている。			
SDGs 17の中で最重要な項目と思う。世界のどこかで紛争が絶えないし、それが原因で、貧困・飢餓・非衛生・人権軽視（人種・女性・子ども・老人・障害者）などが起こっていて、公正が実現できていない。まずはSDGsを通じて紛争予防の価値観を広めることから始めなければならない。平和なくしては他の項目の目標達成は困難であるし、達成を急げば一部の国の利益の追求に終わり、すべての人の利益になることはできず、公正を確保できない。			
将来の不安はあるが現状、平和についての不足はない。滋賀・大津には外国人の居住者も多いから、それらの人々について、日常生活の不自由の解消や就労支援などに十分配慮して公正を保ってほしい。			
被爆自治体として、核兵器禁止、世界平和を発信している			
日本国憲法			
心がけて生活している。自分、二人称、みんな			
廃棄物・汚染土壌・建設残土等の悪質処理業者の告発。			
国連安保理 MSF国境なき医師団（紛争・難民・医療・公平・人道援助・中立・） Unicef WHO			
大津市では、いじめ自殺事件を契機に、全国でも先駆けて防止条例を制定するなど、先進的な取組を実施している。			
IPO「日本地雷処理を支援する会」は現地で地雷処理について指導したり、処理後の土地を農地に開拓し農産物を育てるなどの取り組みをしているとみることがあります。			
生協活動の中で平和の尊さを学んだが、世界にはまだ戦火の中にいる人々が多いこと、人権もないがしろにされるなど、人としての基本である目標だと思う			
原子爆弾の被爆地広島では、平和学習や被爆体験伝承者養成事業などを行い、核兵器の廃絶や恒久平和を訴えている。(SDGs4番や11番にも関わっている。)			
憲法9条を守る会で反戦を訴えている。弁護士さんが社会不正を正している			

目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

記入 36

86点

★「関わっている」と回答した取り組み

記入 27

61点

県や市、企業、大学、民間との連携活動 県や市の行政だけでは行き届かない社会課題を民間と連携して解決していく。また、そこには企業や大学が関わって専門性を生かした問題解決を行う。
2つの問題を提起する。① 行政が諸施策を遂行するにあたって、もっと積極的に企業やNPOとの連携を進めるべき。三者協働が実現されていない。今後の技術開発が期待される時代には、連携を強化しないと他の自治体と比べて、行政が取り残される。② 地域の絆を深めるためにNPOの中間支援機能をもっと強化するべき。一部の活動を除いて、全体的に見てNPOやボランティア活動は低迷しているように感じる。地域の人材資源をもっとしっかり活用したい。
たかしまの森へ行くプロジェクトでは、中間支援組織と森林の管理運営のNPO、炭生産グループと連携し、炭がまを作る技術、炭焼きの技術、炭を使った循環型の森林づくりをめざしている。
地域の色々な主体が連携して活動する場づくりをしている
SDGs関連のセミナーやWebセミナーに参加 取引先との情報交換などで、互いの取組を共有する
アイドリグストップ 奥びわ湖・山門水源の森の支援
環境教育やSDGs教育のために様々な方々とコラボしています。
各種会合に参加。
地域活動、企業訪問、NPO活動を通じて、SDGsへの話題を 提唱している。企業、個人に対しては滋賀県が賛同募集している「2050年CO2ネットゼロ」への賛同登録を呼びかけ、関心を持たれるように働きかけている。
サプライチェーンでのCSR調達の推進 ・株主・投資家とのコミュニケーション推進 ・地域・社会とのコミュニケーションと社会貢献活動の推進
大津市では、平成13年12月1日に、『アジェンダ21おおつ』（大津市地球環境保全地域行動計画）に掲げた取組みを市民、事業者、行政の全ての主体が連携して推進することを目的として、「おおつ環境フォーラム」が設立された。全国でも京都市、豊中市に続く自治体における先進的な環境パートナーシップ組織であり、現在も活動を継続している。このもとに持続可能なまちづくりや、生物多様性の保全など様々な活動が地道に展開されており、一層の発展が期待される。
1. 草津市国際交流協会として5, 10, 11, 17を目標に外国人との行為を目指し、日本語教室、やさしい日本語教室等の活動を継続中です。
地域活動で人とのつながりを重視し、問題解決しながら 目標達成にもっていく
各種会合に参加。
①県・NPO・大学・漁協等との取り組みによる「里湖づくり」 ②市・NPO・市民による環境問題の意見交換
① 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワークでは、会員企業・団体等が協働して環境や社会に配慮したグリーン購入に努めている。
京都大学との共同研究「森里海連環学教育ユニット」では、「ラ コリーナ近江八幡」を拠点に地元の暮らしを知り、生態系や自然に学びながら、これからの地域社会の在り方について研究を進めている
特定非営利活動法人やんちゃ寺では、公的機関の支援につながる以前の子どもの民間での身近で日常的な受け皿として、官民の連携を密にやっています。
昨年、東近江市では「あらゆる場面で木をつかう推進協議会」を設立し、「プラスチックから木へ」や、「木育」を進めています。これは、森を健康にできるよう、行き場のない木材を商品となるよう付加価値をつけお金に変えていこう!とするものです。共感くださる仲間たちと、また取り巻く行政や企業（まだ）と共同し共通の目標を達成していきたいです。
滋賀SDGs×イノベーションハブ 官民の連携により、滋賀県に社会的課題解決ビジネス推進する組織。これまでに十数件の取り組み事例が紹介されている。

地域や社会の課題解決に自主的に取り組むNPOや市民活動をサポートすることにより、市民社会のパートナーシップの推進に関わっています。
・「協同組合」というシステム自体によるパートナーシップの構築 ・国内外における協同組合間連携 ・自治体、NPOなどとの連携

★ 「知っている」と回答した取り組み

記入 9 25点

個々には繋いで考える局面は多くなってきたので、掛け声が良かったと思っています
市内大学との連携協定
多様性を主体に過程を大切に。
草津市では、災害時等に避難場所等での通訳を担当する「外国人による機能別消防団」を全国に先駆けて結成している。団員の外国人は、語学力を生かして、自分の暮らす地域への貢献をしている。
老人保健施設 各種学校
高台にあり、公共交通機関も不便な国分一丁目四区自治会では、買い物や通院等の外出が困難な方が増える中、互いに助け合い、自家用車での送迎活動を平成30年から初めている。
2020年12月にイノベーション学会に参加しました。フードロス対策×子ども食堂のような小さな取り組みも持続可能なパートナーシップと言えるかと教えていただきました。東日本大震災の被災地である石巻で、車を提供したい企業・個人と車が必要な被災者の利用グループとを繋ぐ「日本カーシェアリング協会」の方とお会いし事業の持続可能なパートナーシップについてお話を伺いました
企業の社会貢献活動（社協では見守りネットワークなど）
大崎町システムを日本と世界に公開を→パートナーシップ 燃やさない、埋めないゴミは全て資源という精神で行動。埋め立て施設がない（更改資金なし）→埋め立て地不足→埋め立て処分地の延命